

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	121	1年	前期	臨床検査学科	選択	基礎科学C（物理コース） Basic Science C (Physics)	15	1
担当教員								
金澤 知典								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
物理学の中でも極めて基礎的な分野に絞り、物理学の考え方を学んで理解できるようになる。取り上げる内容とレベルは、力、運動、熱、波動、電気等の高校物理である。								
到達目標（授業目標）								
①高校までの物理学の知識と理解力を確実なものにする。								
②関連科目の学習準備ができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	測定：人間の感覚、基本単位、組立単位、国際単位系、次元解析							
2回	運動：位置と経路、速さと速度、加速度、放体の運動							
3回	力と運動（1）：力、ベクトル、ニュートンの運動の3法則、万有引力の法則							
4回	力と運動（2）：運動量、力積、運動量保存則							

5回	仕事とエネルギー：仕事、仕事率、運動エネルギーと位置エネルギー、エネルギー保存則
6回	温度と熱：温度、熱、比熱、潜熱、物質の相
7回	波動：波の性質、電磁波、音波、ドップラー効果、定常波と共鳴
8回	電気：電荷と電流、電圧と電力、オームの法則、直列と並列回路
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

レポート課題を出題し、理解度を評価する（80％）。授業に対する取り組みの積極性（20％）と合わせて総合的に評価し、60点以上を合格とする。

教科書	James T. Shipman、勝守寛「シップマン自然科学入門 新物理学 増補改訂版」（学術図書出版社）
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

自宅学習で復習し、学習内容の定着を図ってください。

関連科目

前科目									
後科目	124	物理学	151	人間工学（共通）	404	医用物理学	405	医用工学	

実務家教員

備考	授業では、質問を歓迎します。電卓を使うことができます。
----	-----------------------------